
世界で一番浅はかなラブソング

雲崎朝成

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

世界で一番浅はかなラブソング

【Nコード】

N8035A

【作者名】

雲崎朝成

【あらすじ】

大事な人がいなくなったときに何気なく思い出すことが、自分の中で大きくなってしまったある男の心。

(前書き)

今、ブレイクしているアーティストの代表作を聞きながら、それとは真逆の、かつこ悪い物語もあるんじゃないかと思い、書きました。そのせいか詩っばいです。

オレはバカだから、いちいち言葉にしてもらわないと意味通じない。空気読めなんてまるで無理。まあ今まではそれでなんとかなってたし、一生、この性格は変えられないんだろう。

だけど、何も言わずにおまえがいなくなっちゃったことに関しては、おまえの考えつても分かるし、オレが悪いってことも分かる。まあ、察したってやつ？

おまえが側にいないってのは正直寂しいし、つらい。おまえがいたときには、どうでもいいって思ってたことが今になって、どうしようもなく、大切に、忘れられないんだ。

夏休みに花火したときの火薬の匂いとか、オールして始発待ちながら食べた牛丼の味とか、夕方通った土手から聞こえる川の流れる音とか、おまえの温かい手のぬくもりとか。

こんなことの一つ一つが全部一緒になって、オレの中で大きくなっていったって、オレを苦しめてる。そろそろオレも限界だしなんとかしなきゃとは思ってる。

だけど、どうすりゃいいかよく分からない。頭だけがぐるぐる回って、体が全く動きやしない。どうもオレの考える作戦つてのは残念ながら、どいつもこいつもさっぱり上手くない気がする。

やっぱりオレはバカだから、気持ちも言葉にしないと自分の本心かわからないし、伝えられない。おまえはめんどくさがるかもしれないな

いけど、この性格は一生、変えられそうもない。

だからオレは叫び続けようと思う。腹の底から、声が涸れても、周りがオレを笑っても、死ぬまで

「愛してる」

を叫び続けようと思う。

心の底から、頭が痛くなっても、おまえがオレをバカにしても。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8035a/>

世界で一番浅はかなラブソング

2010年11月16日01時15分発行